

# 復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前
---	----	----

【資料を読み、自分の考えを明確にして書く問題】レベル11・12

1 次の問題を解きなさい。

中学生の佐藤さんは、国語の授業で「日本語」をテーマに、スピーチをするようになりました。普段耳にする日本語の使い方の中で、気になったことや興味を持ったことについてまとめました。佐藤さんのスピーチ原稿を読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたは「食べられない」？「食べれない」？

佐藤 花子

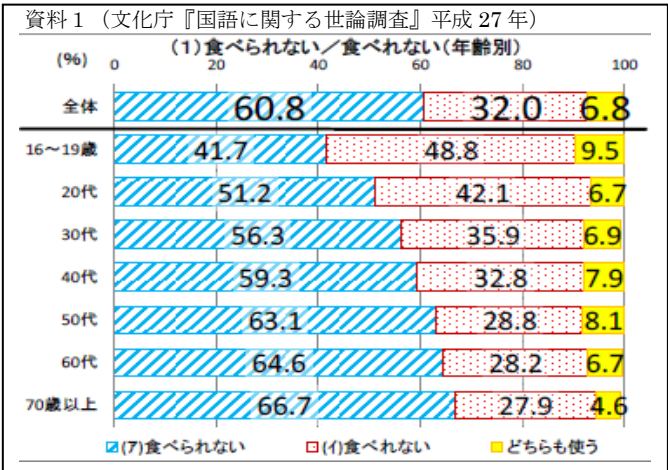
先日、自宅で「もう食べられないよ。」と言ったところ、祖母に『食べれない』ではなくて、『食べられない』が正しいよ。」と訂正されました。そういえば国語の授業で書いた作文でも担当の先生に『ら抜き言葉』はやめましょう」と指摘をされたことがあります。そこで、私が普段気がつかずにつかっている「ら抜き言葉」について調べてみようと思いました。

まず、文化庁のホームページで調べてみました。そこには、「いわゆる『ら抜き言葉』とは可能の意味の『見られる』『来られる』等を『見れる』『来れる』のように言う言い方のことで、話し言葉の世界では昭和初期から現れ、戦後更に増加したものである。（中略）しかしながら、この言い方は現時点ではなお共通語においては誤りとされ、少なくとも新聞等ではほとんど用いられていない。」とありました。

次に、どのくらいの割合の人が「ら抜き言葉」を使っているのか調べました。文化庁の平成27年国語に関する世論調査では、資料1の通り、全体では六割の人が「食べられない」を使っていました。年代別に見てみると、16歳から19歳の人の半数近くが「食べれない」を使っているが、50代以上では三割未満にとどまっていることがわかります。このことから、「食べれない」という「ら抜き言葉」を使うかどうかは、世代によって大きな違いがあることがわかりました。

私は、新聞等でもほとんど使われないということから、やはり正しい日本語を使うことが大切だと思います。だから、「ら抜き言葉」使わないように気を付けたいと思いました。

みなさんは「ら抜き言葉」を使う人が増えていることについて、どう思いますか。みなさんの考えを聞かせてください。





# 復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前

【資料を根拠としながら自分の考えを明確にして書く問題】レベル11・12

1 次の問題を解きなさい。

図書委員会で、読書をしないう人が増えていることが話題になり、読書をするを呼びかける取組を行うことになりました。次に示すのは、A中学校における「読書量が減っている理由」「読書をすることの良いところ」についてのアンケート結果です。

